

# Indonesia Weekly

2018年3月26日



(対象期間:2018/3/19~3/23)

## [株式市場]ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日~2018年3月23日)



## [株式市場]

外国人投資家からの利益確定売りを背景に週を通して上値の重い展開となりました。週半ばには買戻しの動きが見られましたが、米国が中国製品に対して高関税を課す制裁措置を発表したことを受けて週後半には貿易戦争懸念が強まり、再度下落しました。セクター別ではインフラ・公益・運輸、消費財などを中心に多くのセクターが下落しました。

2018/3/16	2018/3/23	変化率
6,304.95	6,210.70	-1.49%

## [債券市場]インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日~2018年3月23日)

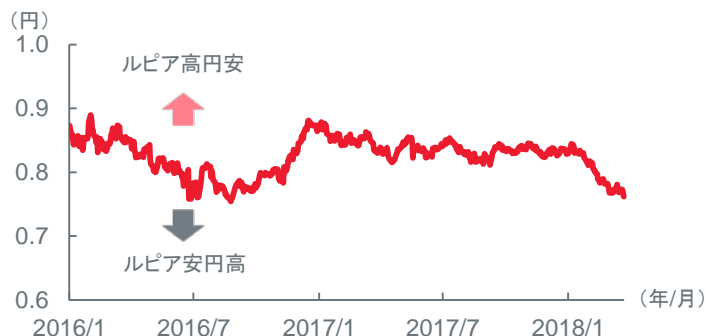


## [債券市場]

週前半は米連邦公開市場委員会(FOMC)を前にした様子見姿勢から小動きとなりましたが、週後半には貿易戦争懸念を背景に利回りは上昇(価格は下落)しました。3月22日(木)の金融政策決定会合でインドネシア中央銀行は、安定したインフレ見通しなどを背景として事前予想通り政策金利を据え置きました。

2018/3/16	2018/3/23	変化幅
6.732	6.907	+0.175

## [為替市場]インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日~2018年3月23日)



## [為替市場]

対米ドルでは小動きとなりました。FOMC後には買戻しの動きが見られましたが、貿易戦争懸念が強まったことなどを背景に週後半は売りが優勢となりました。引き続きインドネシア中央銀行は為替介入を継続する姿勢を維持しています。一方、対米ドルで円高が進行したことを受けてルピアは対円では下落しました。

2018/3/16	2018/3/23	変化率
0.768	0.762	-0.86%

100インドネシアルピアの対円レート

出所: グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

### イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第379号ノ加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開

しているブルデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。